

乳幼児とふれあう — 保育体験をしてみよう —

1 本時の目標

子どもの心身の発達や環境とのかかわりについて認識させ、子どもと適切にかかわることができるようにする。

2 評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
子どもの健全な発達に関心をもち、子どもと積極的にかかわろうとしている。	子どもの心身の発達や環境とのかかわりについて考えている。	子どもと適切にかかわることができる。	子どもの発達や生活について理解している。

3 展開例（時間：100分程度）

	生徒の活動	教師の働きかけ、評価
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> ○「ワーク1」を確認し、保育体験の準備をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○身だしなみ、持参するおみやげ、保育体験をするクラス、子どもとかわる上での注意事項を確認させる。 ○事故防止に留意させる。
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> 学習課題： 保育体験をしてみよう </div>		
展開 85分	<ul style="list-style-type: none"> ○園の先生や子どもたちに挨拶し、諸注意を受ける。 ○クラスに入り、子どもと一緒にその日の活動に参加する。 <p>○おみやげを渡す。 ○園の先生や子どもたちに挨拶し保育体験を終了する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒が子どもたちと交流する様子を観察する。 ☆積極的に子どもとかわろうとしている。 <関心・意欲・態度> ☆子どもの発達を考慮して、かわっている。 <思考・判断> ○うまくかわることができない生徒には助言をしたり、子どもとかわり方について具体的に指導する。 ○子どもの発達や生活を理解して、適切にかかわっている。 <知識・理解><技能・表現> ○できるだけ多くの子どもとかわることができるように促す。 ○持参したおみやげが子どもの発達に適していたか、確認する。

